

## □最近の活動状況

### 【定期講演会】

－9月3日(水)福島ビューホテル－

(一財)とうほう地域総合研究所、(公財)福島県産業振興センターとの共催で定期講演会を開催し、会員の方をはじめ約300名の方が聴講しました。

弁護士で関西大学客員教授の郷原信郎先生を講師にお招きし「企業はなぜ危機対応に失敗するのか～環境変化への適応とコンプライアンス～」というテーマでお話を頂戴しました。

はじめにコンプライアンスについて「法令遵守ではなく、組織が社会の要請に応えることであり、応えることにより信頼につながる」とお話下さいました。



講師 郷原 信郎氏



講演会風景

また、コンプライアンスを車のブレーキに例えて「安全に走るために必要なものだが、最近はワイパーやヘッドライトに変わってきており、組織や経営・業務に組み込まなければならないものになってきている」と重要性を解りやすく説明されました。

そして、不祥事が起きる原因を「戦後の日本経済における組織をめぐる環境の変化に対応できないため」と指摘されました。

その後、具体的な事例を挙げて企業の危機対応について解説して下さいました。

### 【平成26年度通常総会】

－7月3日(木)ホテル辰巳屋－

平成26年度通常総会が行われ、平成25年度の事業報告、決算報告に続き今年度の事業計画と予算、役員体制の議案を審議し、いずれも原案通り可決しました。

総会終了後、引き続き同会場において自衛隊福島地方協力本部長一等陸佐・中村浩之氏を講師にお招きし「日本の防衛について」と題し講演会を開催しました(講演録は2ページに掲載)。

その後、会員懇親会を開き、新入会員・交代のあいさつが行われ、和やかな雰囲気の中親睦を深めることができました。



総会風景

## 【中村本部長の講演内容】

### ○国際情勢について

中国が太平洋に出ようとする、日本列島と南西諸島と台湾が非常に邪魔になるということが地図を見ると分かると思います。中国は国防予算を軍事費に注ぎ込み、中華思想の下で力による現状変更をしようとしています。世界の世論を中国の味方にし、相手の気持ちを挫いて、国際法・国内法を中国が活動しやすいように変える「世論戦・心理戦・法律戦」を駆使して挑んできている状況です。

次にロシアですが、現在また強いロシアに復活してきている状況です。2020年までに新型装備の比率を70%までにあげて近代化を図っています。ロシアの長距離爆撃機などが引続き日本の周りを飛び情報収集や訓練をしています。そのたびに航空自衛隊がスクランブル緊急発進をして対応をしています。しかし最近、ロシアに対する緊急発進の回数を、中国に対する緊急発進の回数が凌駕しています。

そして北朝鮮情勢ですが、引き続き核兵器の開発、弾道ミサイルの開発を続けており、ここ1週間で3回ぐらいロケットやミサイルを日本海に向けて発射しています。日本は弾道ミサイルの射程の範囲内に入っていますが、更に北朝鮮はアメリカ大陸に届くようなミサイルを作り、アメリカに対して切り札を持つようとしています。



講演会風景

講師 中村 一等陸佐

### ○国家安全保障戦略について

これから概ね10年間の期間を対象としています。「積極的平和主義の実現」のため、抑止と対処をバランスよく、争いが起こらないように抑止をしていくという内容です。

防衛力というのは国家安全保障の最終的な担保です。陸・海・空の統合をこれから法律的に整備し、柔軟かつ即応性の高い運用というものを考えていきます。そして日米関係の強化です。抑止という観点から国際平和・国際環境を安定化させる意味において、パートナーとの安全保障協力を強化し、地球規模の課題にも積極的に関与し、国家安全保障を支える国内基盤もしっかり整えていきます。

日本列島のどこで何が起きても、陸・海・空の自衛隊は日本の皆様のために頑張りますのでよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

(文責 事務局)

## 【ふくしまの美酒 夏まつり】

ー8月15日(金)～8月31日(日)

ロイヤルパークホテル ザ 汐留ー

三菱地所グループのロイヤルパークホテル ザ 汐留において東北復興支援の一環として、福島県のお酒を知ってもらうイベントが当会の後援のもと開催されました(福島県酒造協同組合協賛)。

このイベントは、木村恵司(公社)経済同友会副代表幹事・震災復興委員長(三菱地所(株)・代表取締役会長)が福島県のお酒を全国に広めたいと6月に東京の丸ビルで開催された「旨し酒ふくしま酒まつり～酔って候～」(福島県酒造協同組合、東邦銀行主催)につづき、主旨に賛同したロイヤルパークホテルが開催しました。

期間中は、全国新酒鑑評会において金賞受賞数が2年連続日本一の「ふくしまの美酒」を海外の方も含めたくさんの方が楽しみました。



【(公社)経済同友会 夏季セミナー】

ー7月17日(木)・18日(金)仙台市ー

第29回夏季セミナーが開催され、第1セッションでは「震災復興の現状と課題」について、被災3県の代表者による問題提起として現状報告がありました。福島経済同友会の代表として阿部代表幹事が原発事故

後の影響等について現状を報告し、「原発周辺地域の将来に関する復興方針を更に具体的に示すべき」と提言しました。その後、意見交換や各セッションにおいて交わされた議論を踏まえた「東北アピール2014」が採択されました。



阿部代表幹事(右から2番目)

□事務局だより

- 平成 26 年 10 月現在の「要覧・会員名簿」が発行になりました。
- 平成 26 年 6 月～ 9 月に入会・変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

会員交代	 <p>平成26年6月交代 のぶくに いちろう 信国 一朗 (株)テレビユー福島 代表取締役社長</p>	 <p>平成26年6月交代 ごあみ ひろやす 五阿弥 宏安 福島民友新聞(株) 代表取締役社長</p>
	 <p>平成26年8月交代 ふじわら だいたか 藤原 大 (株)秋田銀行 福島支店 支店長</p>	 <p>平成26年8月交代 ましば みつぎ 真柴 三次 福島中央青果卸売(株) 代表取締役社長</p>
	 <p>平成26年8月交代 ひらい よういち 平井 洋一 (株)商工組合中央金庫 福島支店 支店長</p>	

(平成 26 年 9 月 24 日現在 会員数 77 名)  
引続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。

編集日誌

- ◇「○○の秋」と言えば・・・？私はもちろん「食欲」です！！
- ◇生まれも育ちも福島の私にとって、地元で採れる旬の野菜や果物が何よりのご馳走です。震災後は放射能の心配もありましたが、検査したものは安全ですので安心して福島県産を食べています。
- ◇田んぼでは稲が、黄金色に色づき収穫の時を待っています。そのお米から造られるおいしい日本酒を多くの方に味わってもらうイベントが首都圏で開催され大変好評でした。
- ◇各地で開催されているこのようなイベントを通して、素晴らしい福島県産品の良さが全国に広まるといいですね。(今野)

## □会員企業紹介 【第4回 進和ビジネス株式会社】

今回は進和ビジネスの社長の富塚様に、創業に至る経緯から当会への要望などをお伺いしたところ、様々な角度からみて捉えた提案など貴重なお話をお聞きすることが出来ました。



進和ビジネス株式会社  
代表取締役社長  
富塚 新吉 氏

### ○創業の経緯

1970年に大阪万国博覧会が開催され、万博を見てきた先代の社長が「これからは“情報”の時代」と直感、翌年1971年に当時経営していた会社とは別に「情報に関する機器を扱う会社」を創業しました。

万博のテーマが「人類の進歩と調和」。そこから「進和ビジネス」と命名しました。当初は事務機器の取り扱いが主でしたが90年代以降OA化が進み、コンピューター関連機器の取扱量が大幅に増えました。現在は市内の企業や官公庁などにパソコン、FAX、コピー機、什器備品等の「事務所に関する商品」を納めています。小回りの利く規模を生かし、お客様の希望に添った商品の導入や、設置サービス、アフターサービスを行い、お客様の事務所創りのパートナーとなるべく活動しています。

### ○Face to Face

少人数のため事務所のワンフロアーに机を並べ顔を突き合わせ、全員で朝礼を実施していますので、従業員間のコミュニケーションはとりやすいと思います。業務管理のため、「ビズマジック」というビジネスソフトを導入して、全員の日報を受け、またお客様の情報の共有化に努めています。

日々の営業活動は、お客様のお話を伺い、ご要望にかなう適切な商品の提案を行っています。顔と顔を合わせ、お話をお聞きするのが仕事だと思って活動しています。

### ○知識のブラッシュアップ

当社はNEC、キヤノン、コクヨ等の代理店になっているため最新の商品情報はメーカーから流れてきます。人員の1/3を占めるサポート部隊は、商品を修理するため、メーカーの研修を受け試験に合格して認定を受けています。また、営業部隊も最新の商品や適切な商品を提案できるよう、メーカーの展示会等に出席し、新製品を目で見て、直接触れて、機能をよく理解をしたうえでお客様に勧めるようにしています。

### ○歩いて発見

私は2年前に35年ぶりに福島に戻ってきました。今の福島を知るため、街を歩いてみると福島を歩いている人が少ないように感じますし、歩き難いと思います。例えば、パセオ通りの方から福島駅の西口の方に行こうとすると、百貨店の前の地下歩道におり東口で上り、東西連絡通路にまたおりなければ西口に行くことが出来ません。東西連絡通路と地下歩道が繋がってれば利用者が増えもって人が歩くようになると思います。街に人が沢山歩いて活性化している街になってほしいと思います。たまには、車を降りて街なかを歩いてみてはいかがでしょうか？

### ○祭りで街を元気に

福島経済同友会は、福島市に会社がある会員が多いのですが、このことを強みと捉え、福島市に限定した提言をすることを考えてみてはどうでしょうか。

福島市の「わらじまつり」は、東北六魂祭に参加した祭りの中では華やかさに欠けているなど感じました。「笛」と「太鼓」と「かね」が祭りにはつきものです。音を取り入れた新たな伝統のわらじまつりを創ることを、同友会で考えるのも面白いと思います。

地元の祭りに参加した子どもたちが、その祭りの楽しさに魅了され、大人になっても参加し続ける。このような祭りがあれば、地域の活性化につながるはずです。

孫子の世代になったとき、福島に住みたいと思えるような街づくりに貢献していきたいです。

住 所 〒960-0102 福島市鎌田字卸町23番地の6  
設 立 1971年3月  
従業員数 12名  
T E L 024-552-5300  
U R L <http://www.shinwa-b.co.jp>

